

# Sustainability Report

サステナビリティレポート 特集版

## 日本生命グループの 社会貢献活動

安心・安全で持続可能な社会に向けて



NISSAY

日本生命保険相互会社

Nippon Life Insurance Company

## お客様と社会の「今日」と「未来」を支えるために

### 「共存共栄」「相互扶助」の精神を受け継ぎ発展する私たちの企業活動

日本生命は1889年の創業から130年以上にわたり脈々と受け継いでいる「共存共栄」「相互扶助」の精神にもとづき、企業活動を行ってまいりました。

この間、時代は多様化しましたが、どのようなときも国民生活の安定と向上に寄与するという固い信念のもと、様々な商品・サービスの提供やESG投融资の拡大、そして社会貢献活動などを通じて、時代に応じた社会的役割を果たしてまいりました。

### 中期経営計画「Going Beyond -超えて、その先へ-」

歴史に例を見ない少子高齢化、IT技術の革新など、生活・社会環境がめまぐるしく変化する現在において、当社は中期経営計画「Going Beyond -超えて、その先へ-」を策定いたしました。

この中期経営計画では、当社の経営基本理念である保障責任を提供し続けていくために、「全ての人々への安心の提供」「健康長寿社会づくりの牽引」「持続性のある社会づくりへの貢献」の3点に重点を置き、社会的役割を發揮していきます。社会の変化を恐れることなく、むしろ積極的に取り組み課題を解決していくことで、お客様と社会の未来を支え続けてまいります。

### 日本生命にとっての社会貢献活動

お客様と社会のより良い未来のために、生命保険事業のみならず社会貢献活動に積極的に取り組むことを大切にしております。職員一人ひとりが地域・社会の課題に目を向け解決に向けた行動を起こすことは、社会のお役に立つことはもとより、職員自身が成長する機会となり、当社が社会的役割をより一層發揮することにつながっていくと確信しております。

### お客様と社会と共に、持続可能な社会を実現させる

この先の150年、200年そして未来永劫にわたり人々が暮らす社会が健全で豊かなものであるために、お客様と社会に誠実に向き合い、安心・安全で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

「今日と未来を、つなぐ」という当社の企業メッセージには、お客様と社会の「今日」にしっかりと寄り添い、安心した「未来」をお届けし続ける決意と覚悟を込めております。

代表取締役社長

清水 博



# 日本生命グループの社会貢献活動

安心・安全で持続可能な社会に向けて

## 編集方針

当レポートは創業から今日にいたるまで脈々と続けている社会貢献活動について、様々なステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に作成しています。

## CONTENTS

- 1 トップメッセージ
- 2 編集方針／目次
- 3 日本生命グループの社会貢献活動  
～脈々と受け継がれる社会貢献の精神と取り組み～

## 5 **ACTION CSR-V** ～7万人の社会貢献活動～

- 7 日本生命らしさを活かした取り組み
- 11 地域での課題解決に向けた取り組み

- 15 公益財団法人による社会貢献活動
- 17 日本生命グループ各社による社会貢献活動

その他の取り組みについては、オフィシャルホームページ「サステナビリティ」をご覧ください。

日本生命保険相互会社オフィシャルホームページ「サステナビリティ」

<https://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/>



「サステナビリティレポート2020」(PDF)

<https://www.nissay.co.jp/kaisha/csr/library/>

※当社オフィシャルホームページ「サステナビリティ」のうち、年次報告部分をPDF化したものです。



# 日本生命グループの社会貢献活動

## ～脈々と受け継がれる社会貢献の精神と取り組み～

### 日本生命の社会貢献活動の原点

18世紀後半、ヨーロッパに資本主義社会が広がるとともに、相互扶助の仕組みでリスクに備える保険への需要が高まりました。「相互扶助の仕組みを社会に広めたい」と想いを抱いていた滋賀県の銀行家・弘世 助三郎により、1889年に当社が創業されました。当社は共存共栄、相互扶助の精神にもとづく生命保険業を通じて、国民生活の安定と向上に寄与することを固く決意し、それぞれの時代で安心して暮らせる社会を実現すべく取り組んでまいりました。その時々の社会課題に向き合い、生命保険業という本来の事業の枠を超えた活動を行ってきました。例えば、コレラが流行した時代においては、感染予防のビラを配布し衛生観念の普及に尽力し、健康診断が今ほど定着していない時代には、無料で検診を受けられるサービスを提供するなど、国民の健康増進の一助になるべく努めてまいりました。

このように積み重ねてきた長い歴史は、お客様や社会のお役に立ちたいという、当社の社会貢献活動の原点になっています。お客様の暮らす社会が健全で豊かであるために、生命保険業のみならず、社会貢献活動を含むあらゆる企業活動を通じて取り組むことこそ、日本生命の役割であると考えています。

### 時代とともに幅を広げた社会貢献活動

日本生命の社会貢献活動は、お客様・社会のために活動するといった一貫した考えにもとづきつつも、その時々の社会環境の変化や課題に対応すべく、活動の幅を大きく広げてまいりました。生命保険業と親和性の高い「医療」、豊かな情操を育む「文化振興」、豊かな社会の未来を担う「児童・青少年の健全な育成」、世界的にも日本が先行している「高齢化問題」、そして次世代に引き継いでいく「環境」といった分野に長きにわたり取り組んでおります。

それぞれの分野における課題により深く的確に取り組むために、5つの財団を設立しました。現在ではそれぞれが公益財団法人となり、日本生命と共に社会貢献の理念を共有しつつ、各財団の歴史と深い知見にもとづいた活動を展開しています。社会の変化を適切にとらえつつ、日本生命グループ各社とともに社会貢献活動を広げ、深化させてまいります。

### 受け継がれている日本生命らしさ

社会の変化に応じて活動の幅を広げてきた社会貢献活動には、日本生命らしさが表れています。

全国7万人の職員は、営業活動をはじめ、それぞれの地域に密着し、そこに暮らす方々とFace-to-Face(フェイストゥフェイス)のつながりを大切にしてきました。また、全国47都道府県に100を超える支社、約1,500の営業拠点を展開しており、都道府県や市区町村などとも連携し、それぞれの地域課題の解決にお役に立つ活動を行っています。

更に、日本生命グループ各社をはじめとし、公益財団法人やNPO法人、関係のある企業とのパートナーシップを活かして、より一層社会に貢献することを目指しています。

このように、日本生命のあらゆる企業活動が、全役員・職員のボランティア活動である「ACTION CSR-V」や日本生命らしい社会貢献活動につながっていると考えています。

### 現在の社会貢献活動

日本生命は相互会社として長期間にわたる保険商品を提供しており、長期的に安定的な経営を行っております。社会貢献活動についても、ご契約者の方々と共に長期的な視点で社会課題と向き合っており、「安心・安全で持続可能な社会の実現」に向けて、次世代が豊かで健全に育まれていく社会づくりに貢献いたします。

今後も社会貢献活動を含むあらゆる企業活動を通じて、今と未来がより良いものとなることを目指してまいります。

## 社会貢献活動のあゆみ

1889年 創立

### 「共存共栄」「相互扶助」の精神

1924年 日本生命済生会設立

▶ P.15

1949年 日生エンゼル号の誕生

医療機関に恵まれない地域での無料診療や健康相談、緊急時の救護を目的とした診療車として誕生。

1950年のジェーン台風・1953年の北九州の水害・1955年の新潟市の大火などの災害時に活躍。



日生エンゼル号

1973年 ニッセイ文化振興財団設立

▶ P.15

1979年 日本生命財団設立

▶ P.16

1989年 ニッセイ聖隷健康福祉財団設立

▶ P.16

2011年 東日本大震災への対応

「保障責任の全う」に向け、営業職員を中心とした「訪問・電話・メール」などによる「安否確認活動」を展開。以降も、復興支援活動として、物資支援や炊き出しを実施。



宮城県本吉郡の避難所における炊き出しボランティア

2015年

**ACTION CSR-V**

～7万人の社会貢献活動～

の展開

▶ P.5

1923年 関東大震災への対応

保険金即時支払いや既契約への応急措置に加え、救護班を組織し、被害者救護を実施。



大阪本店を出発する臨時保全課員

1963年 日生劇場開場

1964年 「ニッセイ名作劇場」\*開始

舞台芸術の普及と振興を通じて心豊かな社会づくりに役立てるようにと、「日生劇場」を建設。子どもたちへの豊かな情操を育むことを願い、翌年から「ニッセイ名作劇場」への協賛を通じて、小学校6年生を対象に、ミュージカルへの無料招待を実施。



日生劇場

\*「ニッセイ名作劇場」は2014年からは同取り組みを発展、充実させた新たな「ニッセイ名作シリーズ」として展開。

1992年 ニッセイ100万本の植樹活動開始

▶ P.9

1993年 ニッセイ緑の財団設立

▶ P.16

2020年 新型コロナウイルス感染症への対応

生命保険業と関わりが深い医療分野への支援を実施。



医療現場などへフェイスシールドを無償提供



社内献血を実施

# ACTION CSR-V

～7万人の社会貢献活動～

共存共栄・相互扶助の精神を受け継ぐ全役員・職員による持続可能な社会づくり

## ACTION CSR-Vとは

お客様や地域・社会のお役に立てる“人財づくり”を一層進めることで「親しみやすく、最も身近な生命保険会社」となれるよう、約7万人の役員・職員が社会貢献活動に取り組む「ACTION CSR-V ～7万人の社会貢献活動～」を展開しています。

ACTION CSR-Vは「地域の信頼獲得」「魅力あふれる人財の育成」「職場の一体感醸成」を柱として取り組んでいます。

## 全役員・職員の社会貢献活動として定着

2015年に“7万人の社会貢献活動”として、全役員・職員参加を目指してスタートしてきました。

脈々と受け継がれてきた社会貢献の取り組みがベースとなって、社内での理解を進めることができ、開始初年度より6年連続(2020年現在)で全ての役員・職員が毎年社会貢献活動を行う取り組みとなりました。

当初は、推進事務局で用意した全社共通の社会貢献プログラムへの参加が中心でした。現在では、地域や社会の課題に向き合い、自主的に考えて社会貢献活動に取り組む部署や職員が増えています。毎年の活動が定着し、更に深化し発展してきていると考えています。

## 全社共通の社会貢献プログラム

当初から全社共通のプログラムとして用意したものについても、日本生命らしさを大切にしてきました。

例えば、営業職員が日常的なFace-to-Face(フェイス トゥ フェイス)の活動の中で取り組めるような高齢者の見守りや自治体からの情報提供ビラの配布、生命保険の知識を活かしたライフプランや支え合いの仕組みを考える機会を提供する出前・受入授業での講師といったものが挙げられます。

また、地域・社会を元気にしたいとの思いから、地元での定期的な清掃活動、全国各地で行われるイベントでのボランティアなどを行ってきました。



# ACTION CSR-V ～7万人の社会貢献活動～

## ACTION CSR-Vの取り組みの推進

約7万人の全役員・職員が社会貢献活動に取り組むためには、社内で目的を共有し共感してもらうことが必要です。

そこで当社では、ACTION CSR-Vの理解を浸透させる、SDGs推進リーダーを各部署で任命しています。

SDGs推進リーダーには、SDGsの理解浸透や各部署のSDGs取り組み推進を図ることに加え、ACTION CSR-Vの推進を担ってもらいます。

年度始にそれぞれの部署でACTION CSR-Vの取り組み計画を策定し、所属員を巻き込みながら年間を通じて実行していきます。

SDGs推進リーダーが進める部署独自の取り組みを部署をまたいで共有し、更なる課題発見や取り組み深化につながる仕組みも作っています。

### ■ 各部署におけるSDGs推進リーダーの位置付け



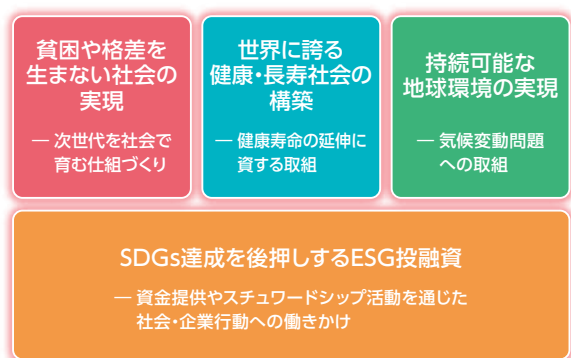
## ACTION CSR-Vに取り込む社会からの要請

各部署が計画を策定するにあたっては、「SDGs達成に向けた当社の目指す姿」に照らし、社会課題を深掘りしたうえで、取り組み内容を考えています。

また、自治体との連携協定の内容を踏まえて、より地域課題に向き合う取り組みになるよう工夫しています。

社会貢献活動においても、地域・社会からの要請をしっかりと理解し取り込むことで当社の役割を発揮できるものと考えています。

### ■ SDGs達成に向けた当社の目指す姿



安心・安全で持続可能な社会の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社はSDGs達成への貢献に向けて、「貧困や格差を生まない社会の実現」「世界に誇る健康・長寿社会の構築」「持続可能な地球環境の実現」の3つのテーマとそれを支える「ESG投融資」に特に重点を置き、企業活動に取り組んでいます。

### ■ 自治体との連携協定



都道府県との「包括的連携協定」や、市区町村との健康増進など個別項目に絞った「個別連携協定」など、官民協働を通じ、地域社会への貢献を目的とした取り組みを進めています。

## 日本生命らしさを活かした取り組み

### 「出前授業」「受入授業」で子どもたちの未来を応援

#### NISSAYらしさポイント

全国の職員が講師となり、ライフデザインや支え合いの大切さを直接伝える

中学生・高校生を対象とした当プログラムは、子どもたちが自分自身の将来について考え、きり拓いていくことを応援したいとの思いで、2011年にスタートしました。「出前授業」では職員が学校を訪問し、「受入授業」では生徒が来社して、「ライフデザイン」「家計管理」「支え合い」などをテーマにした授業を行っています。当社のネットワークを活かして、全国の中学校・高校を対象に授業を行っています。

取り組み開始から10年間で

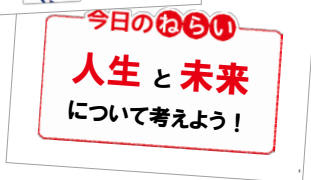
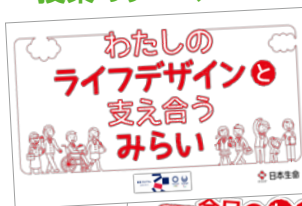
**686校 68,121名**

に授業を実施しました

「出前授業」の様子(2019年)

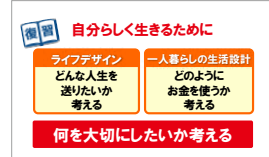


#### 授業のテーマ



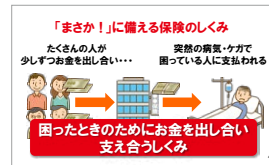
#### ライフデザイン・一人暮らしの家計管理

自分の未来や、社会人1年目の生活設計を考えるワークを通して、自分らしく生きるためのライフデザインや家計管理の重要性を学びます。



#### ライフデザイン・家計管理(家族をもつ場合)

家族をもつ場合のライフデザインや家計管理を例に、意思決定を積み重ねることの大切さや、「まさか!」のときのために助け合い、支え合う仕組みがあり、それが自分らしく生きる未来につながることを学びます。



#### 生徒の声

- 普段、自分の人生を想像することはなかったけれど、自分らしい生き方を考えることができたし、人と人が支え合って生きていることをとても感じるようになりました
- 将来のことを現実的に考えるようになり、授業前よりもお金を大切にしようという気持ちが高まりました
- 支え方はひとつじゃないし、みんなが誰かのために何かをしていると思いました。子どもの今も、大人になっても、周りの人に支えられているという意識をしっかりとって、身の周りの人を大切にしたいです



離島での授業の様子

#### 訪問先は全国津々浦々。沖縄県の離島まで訪問します

沖縄県の中でも特に離島は、中学卒業後本島などの高校に進学し、多くの生徒が寮生活や一人暮らしをするようになります。短い授業ではありますが、卒業後のお金の使い方や、社会人になり家族ができた際の保険の必要性を伝え、生徒の記憶に少しでも残り、先の将来を考えるきっかけになってくれたら嬉しいです。

那覇支社 育成センター 松本 愛莉



# ACTION CSR-V ～7万人の社会貢献活動～

## 日本生命らしさを活かした取り組み

### ご高齢者を見守る活動

#### NISSAYらしさポイント

お客様とのFace-to-Face(フェイス トゥ フェイス)のつながりを活かす

日々、地域の中でお客様のご自宅などに伺った際、郵便受けに新聞が溜まっている、夜になっても庭先に洗濯物が干してあるなどの異変があった場合、必要に応じて本人またはその家族への連絡や、市区町村窓口への通報などを行っています。また、高齢者の方々の振込詐欺被害防止に向け、警察本部等と連携し、お客様へ「振込詐欺防止ビラ」を配布するなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、様々な情報提供を行っています。

振込詐欺防止パンフレット配布



「見守り活動ビラ」や「交通事故防止ビラ」、「自転車保険に関するビラ」など、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、様々な情報提供を行います



### 日本生命所属選手によるスポーツ教室の開催

#### NISSAYらしさポイント

全国の子どもたちと直接ふれ合う

児童・青少年の健全育成とスポーツ振興への貢献を目的に、当社の野球部・女子卓球部に所属する選手たちが、子どもたちを対象にスポーツ教室を開催しています。

北は北海道、南は九州・沖縄と、全国各地で開催しており、毎年4,000名前後の方々に参加いただいています。



野球教室の様子

取り組み開始から16年間で  
参加者は **50,000名以上**



卓球教室の様子

#### 参加者の声

- 一流選手の技を間近で見ることができて感激しました。一人ひとりに合わせた対応をしてくれるのが嬉しかったです
- 普段とは違う練習、指導で子どもたちがイキイキしているようでした

# ACTION CSR-V ～7万人の社会貢献活動～

## 日本生命らしさを活かした取り組み

### “ニッセイの森”を通じた地球環境の保全

#### NISSAYらしさポイント

#### 公益財団法人とのパートナーシップ

かけがえのない地球環境を次世代へ引き継ぐことを願い、公益財団法人ニッセイ緑の財団とともに、1992年から森づくりを開始しました。これまでに植えた苗木は137万本を超え、“ニッセイの森”は46都道府県203カ所にまで広がっています。苗木代や活動経費は、職員などからの寄付でまかなっており、この活動に職員がボランティアとして参加しています。

#### 自分たちが使う紙の分の木々を自分たちで植える

当社の業務では、お客様への説明資料や情報提供資料を主な目的として大量の紙を使うことから、紙使用量の削減を進めるとともに、森林資源の保全に更にご貢献すべく、1992年に“ニッセイ100万本の植樹運動”を開始しました。

第1回植樹地  
(ニッセイ富士の森)



100万本の植樹を  
目標にスタート

第1回の植樹活動の様子



#### 「植える」から「育てる」活動へ展開

2002年に目標の100万本の植樹を達成し、その翌年から、これまで植えてきた“ニッセイの森”の木々の育樹活動(下草刈り・除伐・間伐など)を展開しました。毎年約1,200名の職員がボランティアとして森での活動を行っています。

育樹活動の様子



「ニッセイ未来を育む森づくり」  
をスローガンに、  
29年間で  
延べ約39,000名が参加

#### ボランティア参加者の声

- ・ 森林を守り、育てるには、地元の森林組合の方など多くの人たちの協力があることを認識できました
- ・ 樹木を育てることの大変さを実感したことで、真剣にペーパーレスに取り組もうという意識につながりました
- ・ 地球温暖化、異常気象が身近な問題となっている中、職員一丸となって環境保全にご貢献できる活動に取り組むことにとっても意義を感じました

## 日本生命らしさを活かした取り組み

### 次世代を社会で育む活動

#### NISSAYらしさポイント

#### パートナーシップで次世代を応援

#### 「子供の未来応援国民運動<sup>※1</sup>」の支援の輪に参加

全ての子どもたちが夢と希望をもって成長していける社会の実現を目指し、子どもの貧困問題の解決に取り組む「子供の未来応援国民運動」に賛同し、各種支援に取り組んでいます。

##### 教育支援活動を行う団体との協働

子どもの貧困問題を解決するため、一般社団法人全国子どもの貧困・教育支援団体協議会は、各地域のNPOなどの団体の活動安定化に向けた支援プログラム<sup>※2</sup>を実施しています。当社はこの活動を応援しています。



##### 寄付型自販機の設置

当社オフィスなどに「子供の未来応援基金 寄付型自動販売機」を設置し、飲料の売上1本ごとに10円を「子供の未来応援基金」に寄付しています。



「子供の未来応援基金 寄付型自動販売機」

※1 推進事務局：内閣府、文部科学省、厚生労働省、独立行政法人福祉医療機構  
 ※2 「教育支援団体個別支援プログラム supported by 日本生命」

#### 「一般社団法人若草プロジェクト」の活動を支援

貧困・虐待・家庭内暴力・いじめ・育児ノイローゼなど、生きづらさを抱えた少女や若い女性たちへの支援として、2019年に、一般社団法人若草プロジェクトと包括協定を締結しました。その協定を通じて、若草プロジェクトと共に様々な所で若い女性をサポートしています。

#### 一般社団法人若草プロジェクト

1.名称	一般社団法人若草プロジェクト
2.設立	2016年4月
3.代表理事	大谷恭子(弁護士)
代表呼びかけ人	瀬戸内寂暁(作家、僧侶) 村木厚子(元厚生労働事務次官)等
4.主な取り組み	生きづらさを抱えた少女や若い女性たちと、彼女たちを支援する人たち(支援者)とをつなげ、彼女たちの心に寄り添う支援を届ける

##### まちなか保健室 (東京都千代田区秋葉原)

若草プロジェクトが設置した「まちなか保健室<sup>※3</sup>」の認知向上に向け、その存在を少女たちに伝えるためのグッズを寄贈しています。



##### プロボノチーム ミーティングの風景

全国の当社職員から募集したボランティアによるプロボノ<sup>※4</sup>プロジェクトチームを立ち上げ、若草プロジェクトの業務運営効率化支援に取り組んでいます。



※3 悩みを抱えた少女たちが気軽に立ち寄ることのできる、まちの中の保健室というコンセプトで設置されています。  
 ※4 プロボノとは、「社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かしたボランティア活動」を指します。

# ACTION CSR-V ～7万人の社会貢献活動～

## 地域での課題解決に向けた取り組み

### 外来植物除去でありのままの自然を守る!!



北海道根室市にある春国岱<sup>しゅんごくにだい</sup>は、ラムサール条約登録湿地であり別名奇跡の島と呼ばれ、数千年をかけて堆積した砂の上に様々な植物が生い茂った、ありのままの自然がある珍しい島です。

そのような自然も放っておいては外来植物の影響を受ける可能性があります。道東支社では、在籍する職員が貴重な自然に暮らす生物の多様性を守ることを目的に保全活動に取り組んでいます。

年に一度、根室市ネイチャーセンターのサポートを受けながら活動湿原に侵入する外来種の除去を行っています。

野鳥の宝庫である春国岱には、動物、植物、たくさんの自然があります。未来の人たちに少しでも自然を残していけたらいいなと思います

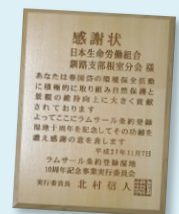
おそろいのTシャツ・タオル・ジャンパーでやる気もアップ！身体が動く限り続けていきたいです



今年もたくさん除去できました!! これからも継続してがんばります

#### 感謝・期待の声

毎年活動を続けていることに対し、2015年11月にラムサール条約登録湿地10周年記念事業実行委員会より感謝状を贈呈されました。



#### ワンポイント 生物多様性

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるととしています。

引用：環境省 生物多様性ホームページ「生物多様性とは」 <https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/about.html>

# ACTION CSR-V ～7万人の社会貢献活動～

## 地域での課題解決に向けた取り組み

### 「健康アンケート」で県民の健康を応援!!



仙台支社では、地域のお客様の健康をお守りするために「宮城県民を守るんだプロジェクト」を展開しています。その中で、8万人を超える県民の方々に「健康アンケート」を実施し、健康意識や傾向をまとめました。その結果を県民の方々に伝えることで、地域の特性に応じた健康取り組みの推進を行っています。

結果お知らせペラ

いただいた回答から県民の行動特性をグラフ化し、健康維持・改善への一助となる情報を提供

個人版



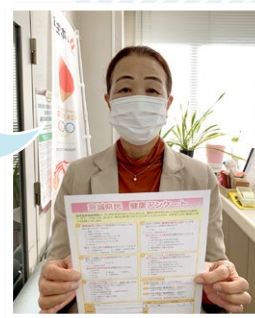
法人版



「健康アンケート」は営業職員の日々の活動を通じてお客様にご案内



県の皆様のお役に立てる情報の提供などを通じて、お客様の健康をお守りする取り組みを継続的に実施していきたいと思っております



感謝・期待の声



写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

宮城県でも、「減塩あと3g」・「歩こうあと15分」・「めざせ受動喫煙0」をつないだ「脱メタボ!みやぎ健康3.15.0(サイコー)宣言」を掲げ、県民の健康増進を進めており、引き続き、日本生命様の進める地域全体の健康推進に向けた取り組みに期待しております。

宮城県保健福祉部健康推進課 課長補佐(班長) 吉岡 弘 様

### ワンポイント 健康と地域経済

内閣府が作成したレポートでは、「地域経済にとっては、全国より急速に高齢化が進み、既に人手不足問題への対応が喫緊の課題となっている地域もあるなかで、地域で生活する人々の健康は、地域の活力の維持・創出に大きく関わる」と示されています。

出典：内閣府ホームページ『地域の経済2019—人口減少時代の成長に向けた土台づくり—』 第3章 健康と地域経済

[https://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr19/chr19\\_03.html](https://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr19/chr19_03.html)

# ACTION CSR-V ~7万人の社会貢献活動~

## 地域での課題解決に向けた取り組み

### がんで苦しむ方々へ、私たちができることを!!



京都支社では、薬の副作用などで苦しむがん患者様に向けタオルで手作りした帽子を渡す活動を行っている「京都タオル帽子の会」主催の取り組みに参加し、タオル帽子を大学病院などへ寄付しました。



私たちは日頃の活動を通じて、病気になったときの備えの必要性をお客様に伝えています。そのような私にとって、がんになられて闘病される方々のお話を直接聞かせていただく機会は非常に大切です



講師の方々に丁寧に教えていただき、「誰かの支えになれば」と考えながら、一針一針懸命に縫いました



闘病される方々に対し、私たちでも役に立てることを知る貴重な体験となりました。その心を今後の営業活動にも活かしていきたいと思っております

#### 感謝・期待の声



皆様の温かいお気持ちに心より感謝申し上げます。「できる人ができる事を、できる時にできるだけ」をモットーにこれからも活動してまいります。今後ともご支援ご協力の程よろしくお願いたします。

京都タオル帽子の会代表 大西 ふさ子 様



#### ワンポイント がんと共に生きるために

国立がん研究センター がん対策情報センター「がん情報サービス」は、患者さんやご家族の方をはじめ、一般の方や医療専門家、がん診療連携拠点病院の方々に対して、がんについて信頼できる、最新の正しい情報をわかりやすく紹介しているウェブサイトです。それに加え、療養生活での不安や悩みへの対応などに関する情報が掲載されています。

出典：国立がん研究センター がん対策情報センター ホームページ「がん情報サービス」

<https://ganjoho.jp/public/index.html>

# ACTION CSR-V ～7万人の社会貢献活動～

## 地域での課題解決に向けた取り組み

### 大規模イベント支援で地域を盛り上げる!!



提供:大分車いすマラソン2020事務局

©Rikimaru Hotta

全国に支社・営業拠点を置く当社は、各地域の振興は欠かせないものと考えており、地域の一員としてイベントの運営・盛り上げに協力しています。

大分支社では、自治体が主導する特徴的なイベント運営に協力しています。世界的ピアニストの名を冠した音楽祭や、世界で初めての「車いすだけのマラソンの国際大会」といった、県で長年開催されている大規模なイベントの運営ボランティアに職員が参加しています。イベントの成功とともに、大分の名が全国にPRされることを目指しています。

音楽祭のコンセプトの一つは、地域の人たちとともに音楽祭を創りあげ、音楽の力を信じて、より豊かな社会環境を創造し、大分の地から世界へ向けて、個性あふれる音楽文化を発信すること

世界で初めての「車いすだけのマラソンの国際大会」は、障がいのある方々についての関心と理解を深め、国際交流を深める絶好の機会となることを目的としている



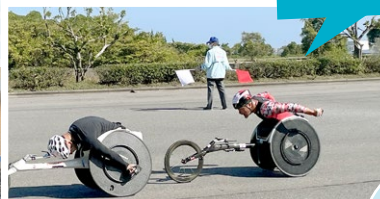
©Rikimaru Hotta

©Rikimaru Hotta

#### 感謝・期待の声

別府アルゲリッチ音楽祭はボランティアスタッフに支えられています。音楽祭を応援して下さる地元の企業や主婦、学生までその数は150名にも及び、受付、チケット確認、案内誘導、物販の業務を担ってくださっています。「おもてなし」の心が溢れる温かい対応は、全国各地から来場するお客様から高い評価を得ており、私たちの誇りです。

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団



レース中のサポートから緊急対応車への対応まで、様々な運営に協力します



大分国際車いすマラソンは、日本生命の職員方をはじめ、ボランティアの方々や学生など、毎回約2,000名の方々に大会運営へのご協力をいただいています。皆様の優しさと気配りに満ちたおもてなしは選手から大変好評をいただいております。お陰様で本大会は、世界のトップアスリートをはじめ国内外から多くの選手が目指す世界最高峰、最大級の車いすマラソンとなっています。

大分国際車いすマラソン事務局

#### ワンポイント 地方振興 活力と魅力ある地域づくり

国土交通省では、この国に暮らすひとりひとりが、将来にわたって生き生きと生活することができる真に豊かな国の実現を目指して、関係府省、自治体、民間団体と協力しながら、地域と国土のあり方を議論し、その実現へ向けた取り組みを推進しています。地域振興については、地域づくりの取り組み支援をはじめ、地域振興に関する法制度や地域づくりの情報交流の仕組みなど、様々な形で地方振興へ向けた取り組みを推進しています。

出典：国土交通省 国土政策局 ホームページ <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/index.html> を加工して作成

# 公益財団法人による社会貢献活動

日本生命が、「医療」「文化振興」「児童・青少年の健全な育成」「高齢化問題」「環境」の分野における課題により深く的確に取り組むために設立し、寄付を通じて活動を支援している財団

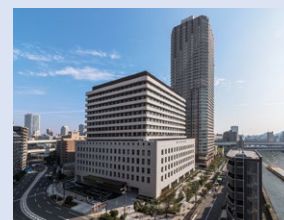
## 公益財団法人 日本生命済生会

「済生利民(生命・生活を救済し、人々のお役に立つ)」を基本理念に、1924年に設立され、「日本生命病院」を運営しています。

「日本生命病院」は、現在27診療科、9診療センター、350床を有し、「大阪府がん診療拠点病院」や「地域医療支援病院」の指定を受けるなど、高いレベルの医療を提供しています。

また、人間ドック健診などを行う「ニッセイ予防医学センター」や在宅看護の「ニッセイ訪問看護ステーション」といった「予防・治療・在宅まで一貫した総合的な医療サービス」の提供により、健康寿命の延伸や地域の医療へ貢献しています。

更に、患者様や地域の方々を対象とした無料の「健康講座」や「ふれあいコンサート」、「夏休み子ども医療体験」など地域に根差した社会貢献活動にも取り組んでいます。



日本生命病院 外観

## 公益財団法人 ニッセイ文化振興財団

舞台芸術を通じた心豊かな社会づくりを目指して開場した日生劇場を中心に、優れた舞台芸術の提供・向上と芸術文化の振興に寄与するために、1973年に設立されました。

ご家族で本格的な舞台芸術に触れていただく「日生劇場ファミリーフェスティバル」や日本のオペラ振興を目指した「NISSAY OPERA」を上演する一方で、「ニッセイ・バックステージ賞」を設け、優れた舞台技術者を表彰するなど、舞台芸術を支える人材の育成に取り組んでいます。また、子どもたちの豊かな情操を育むことを願い、当社が協賛する「ニッセイ名作シリーズ」に、全国の児童・青少年を無料招待しています。2020年は、コロナ禍により舞台を鑑賞できなかった学校に、オペラ・バレエのハイライト集や、物語付きクラシックコンサートを収録したDVDを無償提供しました。

名作劇場・  
名作シリーズ  
累計招待児童数  
57年間  
約795万名



日生劇場ファミリーフェスティバル  
音楽劇「あらしのよるに」  
(2019年公演より/撮影:青木司)



## 公益財団法人による社会貢献活動

### 公益財団法人 日本生命財団

「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として1979年に設立され、児童・高齢・環境の三分野を中心に助成事業を進めています。

児童分野では、都道府県の協力のもと、子どもの健全育成に向け活動する全国の団体に物品助成を行っています。また、2020年より、子どもの健全育成に資する研究を対象に、実践的研究助成を新たに開始しました。

高齢分野では、地域包括ケアシステムの展開など高齢社会の課題解決に資する活動・研究に対する助成を行い、シンポジウム開催による助成成果の社会還元を進めています。

環境分野では、持続可能な社会の実現に向け学際的総合研究を特色とした研究助成を行い、その成果は書籍出版などを通じて広く社会に還元しています。

42年間の  
累計助成実績  
**19,864件**  
約**174億円**



小城桜武館少年剣道クラブ(佐賀県)  
【助成物品:剣道用具一式】

### 公益財団法人 ニッセイ聖隷健康福祉財団

高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくり事業を具現化すべく、1989年に設立され、総合シルバーサービス施設「ニッセイエデンの園」を運営しています。

現在、「ニッセイエデンの園」は奈良・松戸の2カ所にあり、有料老人ホーム、疾病予防運動センター、診療所、高齢者総合福祉センター、在宅介護サービスセンターなどを整備した、高齢者の健康・福祉のための総合施設として厚生労働省の「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業<sup>\*</sup>」の認定を受けています。両施設とも地域で暮らす高齢者の健康と生きがいの増進および高齢者が安心して生活できるまちづくりに寄与しています。

また、豊かな高齢社会システムづくりに貢献するため「介護福祉士等養成のための奨学金助成」「高齢者に対する総合的な生活サービスに関する調査研究活動」も積極的に進めています。

<sup>\*</sup>高齢者が安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりを実現させるために、1989年からスタートした厚生労働省の施策



奈良ニッセイエデンの園



松戸ニッセイエデンの園

### 公益財団法人 ニッセイ緑の財団

「緑の保護、育成に努め、もって幅広く環境の保全に資する」ことを目的に、1993年に設立され、「森林づくり」「森林を愛する人づくり」の活動をしています。

「森林づくり」では、1992年からこれまでに植えた苗木は137万本を超え、「ニッセイの森」は46都道府県の203カ所(467.9ha)に広がり、森林環境の保全に取り組んでいます。

「森林を愛する人づくり」では、ふれあい森林教室・森の探検隊などの「ニッセイの森」を活用した森林のめぐみに触れる活動のほか、「ニッセイの森」の間伐材から作製した「樹木名プレート」や各学校オリジナルの「学校の木のしおり」を学校などへ寄贈しています。また、オンラインを活用し、「ニッセイ緑のオンライン環境講座」、「ニッセイの森」の紹介、「木工クラフトの作り方紹介」などの発信をしています。



「樹木名プレート」と「学校の木のしおり」

# 日本生命グループ各社による社会貢献活動

日本生命グループ各社が  
それぞれの特徴を活かして取り組む様々な活動

## 「苗木プレゼント」

大樹生命保険株式会社

大樹生命保険株式会社(以下、大樹生命)は、“緑・自然を守り、親から子へと美しい緑の街を伝えたい”という願いを込めて、1974年から「苗木プレゼント」に取り組んでいます。緑を大切に、次の世代に自然を残し伝えていくという大樹生命の考え方に賛同する方に対し、苗木を贈呈する取り組みです。年度や地区ごとに異なる樹種をプレゼントしています。

苗木プレゼントリーフレット



開始から47年間で累計517万本超の苗木を贈呈し、  
全国各地で心地よい木陰をつくりながら、周辺環境の保護などに役立てています。

## プログラミング教室

ニッセイ情報テクノロジー株式会社



オリジナル  
プログラミング教材



ニッセイ情報テクノロジー株式会社では、学校現場で進む「プログラミング的思考(論理的思考)」の育成をサポートするため、社員が講師となり、オリジナルで作成した教材を用いた小学生向けプログラミング授業を行っています。プログラミングの面白さ・ものごとを成し遂げた達成感を味わってもらうとともに、身近な生活の中でコンピュータが活用されていることや、問題解決には具体的な手順があるといったことなどに対する気付きを得ることを狙いとしています。

事業所がある大阪・東京・仙台で開催し、これまで239名の児童が参加されました。  
オリジナルプログラミング教材は、ニッセイ情報テクノロジー株式会社のホームページでダウンロードすることも可能です。

# 日本生命グループ各社による社会貢献活動

## 「ニッセイグループ夏休み自由研究フェス!!」

日本生命・  
グループ会社・財団法人  
共催

日本生命と、当社グループ会社・当社設立の財団により、多様な事業フィールドやネットワークをフルに活用して「ニッセイグループ夏休み自由研究フェス!!」を開催しています。

参加した子どもたちには、各社の特色を活かしたプログラムを通じて、普段できない体験や自由研究のヒントを見つけることにつなげていただきました。



### 保険の仕組みを学ぼう

日本生命



将来の夢を発表しあい、親子でライフプラン表「夢シート」を作成しました。夢シートに書いた「行きたいところ」「やりたいこと」を叶えるために様々なリスクへの備えが必要なことなどから保険の大切さを学びました。

### 株価を予想してみよう

ニッセイアセットマネジメント



株式の仕組みや、会社が株式を発行する目的などを学んだ後、ゲーム会社やファストフードチェーン店など子どもたちにも分かりやすい身近な例を用いて、株価の値動きの要因を考え、親子で株価を予想しました。

### 介護について学ぼう

ニッセイ聖隷健康福祉財団



高齢者の身体的特徴を疑似体験できるグッズを全身に装着し、日常の様々な動作(歩行、箸で豆をつかむなど)にチャレンジしました。また、認知症理解のための寸劇鑑賞や車いす体験を通して、高齢者に優しく接することの大切さを学びました。

### 物の値段の決め方を学ぼう

ニッセイ基礎研究所



需要と供給のバランスで物の価値が変動することや、原材料費・利益など、価格設定の考え方を学んだ後、着ている衣服やスーパーのチラシから身の回りの物の生産地を探し、日本地図・世界地図に親子で書き込んで、大きな生産地地図をつくりました。

2016年度から、大阪・東京・神奈川で開催してきました。

累計参加人数は1,618名にのぼり、参加した子どもたちからは

「来年も参加したい!」「自由研究がこんなに早く終わってうれしい!」、

保護者の方からは「子どもと普段はできない体験ができてとても良い時間だった」

「日本生命グループの幅広さにびっくりした」などの感想をいただき、

毎年大盛況のイベントとなっています。

# 会社概要

(数値は2021年3月末現在)

名称	日本生命保険相互会社	事業所	支社等 108 営業部 1,521 海外事務所 4 代理店* 18,562 *「代理店数」には、銀行等の金融機関代理店等を含みます。
所在地	本店：〒541-8501 大阪府大阪市中央区今橋3-5-12 東京本部：〒100-8288 東京都千代田区丸の内1-6-6	子会社等	保険および保険関連事業 21社 資産運用関連事業 58社 総務関連事業等 10社
代表取締役社長	清水 博		
創立	1889年7月4日		

## ■ 生命保険のお手続きやお問い合わせにつきましては

ニッセイホームページ	<a href="https://www.nissay.co.jp/">https://www.nissay.co.jp/</a> *ご住所の変更等のお手続きや契約内容の照会、資料請求、ご相談等を受け付けています。	
ニッセイ・ライフプラザ (くらしと保険の相談デスク)	<ul style="list-style-type: none"><li>●営業日／月～金曜日（祝日、12/31～1/3は除きます。） 一部の店舗では土曜日の保険相談サービスを実施しています。 *土曜日にお手続きはお取り扱いしていません。 *土曜日は予約制となりますので事前に店舗までお電話のうえご来店ください。</li><li>●営業時間／店舗により営業時間が異なります。 詳細についてはホームページにてご確認ください。</li><li>●ニッセイ・ライフプラザ、くらしと保険の相談デスクの詳細についてはこちら <a href="https://www.nissay.co.jp/madoguchi/">https://www.nissay.co.jp/madoguchi/</a></li></ul>	
ニッセイコールセンター ご高齢のお客様専用ダイヤル (シニアほっとダイヤル)	<b>0120-201-021</b> <b>0120-147-369</b> 受付時間／月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00 (祝日、12/31～1/3は除きます。) *プライバシー保護のため、お問い合わせは契約者ご本人からお願いいたします。 *お電話をいただく際には、契約番号(証券記号番号)をお知らせください。 *ニッセイコールセンターへのお電話の内容は、当社業務の運営管理およびサービス充実などの観点から、録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。	

日本生命公式SNS



@nihonseimei



@nissay\_official



@nissay\_official



@nissay\_official

今日と未来を、つなぐ。



日本生命

NISSAY

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

日本生命は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを  
採用しています。

2021年5月発行

2021-453G, CSR推進部